

講義科目名称：女性学

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	卒業：選択必須
担当教員	川原 ゆかり		
開講期間			

講義概要	<p>①女性学とは何かについて学ぶ。歴史的・文化的・社会的・法的変遷の中の女性の生き方について学ぶ。女性とエンパワーメントについて見識を深める。          ②フェミニズムの理論について知る。ジェンダー問題について学ぶ。女性の二極化について認識を深める。          ③女性と家庭問題について考察する。結婚について考える。女性と子育てや働くことについて学習する。          ④母親と児童虐待について考える。DVについての見識を深める。母子世帯の抱える問題について学習する。          ⑤性同一性障害などセクシャリティの多様性について学び、性の商品化について考える。</p>
授業計画	<p>1 オリエンテーション・自分史レポート・女性学概論          「女性と自分史」についてのレポート及びアンケート調査          学習課題 復習：          予習：</p> <p>2 結婚について          結婚の定義 結婚の多様性・結婚及び離婚事情          学習課題 復習：          予習：</p> <p>3 セクシャリティの多様性          セクシャリティとセクシュアル、マイノリティ          身体・多様性          学習課題 復習：          予習：</p> <p>4 セクシャリティの多様性          性同一性障害、同性愛について          学習課題 復習：          予習：</p> <p>5 女性と労働          日本型雇用の中の女性の職業と働くこと          学習課題 復習：          予習：</p> <p>6 ジェンダーについて          性と生殖と生～世界の出産・プレミエール～          学習課題 復習：          予習：</p> <p>7 女性・母親の子育て          子育てに対する意識・子育ての変化          学習課題 復習：          予習：</p> <p>8 困難を抱える女性と社会福祉          DVに見る女性の意識と生き方について          学習課題 復習：          予習：</p> <p>9 困難を抱える女性と社会福祉          DV法について学習する          学習課題 復習：          予習：</p> <p>10 虐待を受けた子ども          人権侵害としての性的虐待を受けた女性の生き方          学習課題 復習：          予習：</p> <p>11 生き方の困難を抱える母親          ネグレストの事例に見る女性・母親の生き方を考える          学習課題 復習：          予習：</p> <p>12 生き方の困難を抱える母親          事例に見る地域社会・保育者の有り様について考える          学習課題 復習：          予習：</p> <p>13 女性と援助交際・犯罪          援助交際に見る女性の生き方を考える          学習課題 復習：          予習：</p> <p>14 女性と高齢者問題          少子高齢社会における女性の生き方          学習課題 復習：          予習：</p>

	15 女性行政の歴史と課題について知る 女性としての生き方を考える総合学習 学習課題 復習： 予習：
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①女性学とは何か？について学び、フェミニズムの視点を持つことができる。 ②ジェンダー平等をめぐる歴史と理論について学び、ジェンダーについて理解することができる。 ③女性史と結婚・家庭問題・子育て・労働について見識を深め、女性としての生き方について学ぶことができる。 ④困難を抱える女性と社会福祉（母子世帯の現状・暴力と女性～DV～）について学び、諸々の支援制度について学ぶことができる。 ⑤セクシャリティの多様性（性同一性障害・同性愛）・売買春について学び、女性の性とその生き方について再認識できるようになる。
教科書・参考書	テキスト：『女性学入門』 杉本貴代栄 編著 ミネルヴァ書房 2,500円 参考書：『少子化時代のジェンダーと母親意識』 目黒依子・矢澤澄子 編 新曜社
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後及び昼休み、授業外は研究室に気軽に来てください。
備考・メッセージ	テーマ毎に実話に基づくDVDや担当教員の臨床例を通して、具体的に女性の生き方を考え、女性としてのアイデンティティを確立し、保育者の自立的な生き方を追求する。毎回、授業集中度及び理解度のアンケート調査を行う。